

平成29年度 文京区障害者地域自立支援協議会
第2回権利擁護専門部会 次第

- 1 日時 平成29年10月5日(木) 午後6時30分から
- 2 場所 文京総合福祉センター4階 地域活動室C

1 開会

2 議題

(1) リアン文京の選挙投票支援を通じた意思決定支援について

- ・リアン文京による選挙投票支援について経過説明、状況報告
(リアン文京・小林係長より)

- ・質疑応答、意見交換権利擁護専門部会の下命事項の確認について

(2) その他

【配付資料】

- ・開催次第
- ・障害当事者部会作成広報誌

ぶんきょうく
文京区

しょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい
障害者地域自立支援協議会

しょうがいとうじしゃぶかい
障害当事者部会

こうほうし
広報誌 Vol. 2

あまのふくぶかいちょう あいさつ
天野副会長 挨拶

「しょうがい」や「違い」を大切に、共に主

ちが たいせつ とも しゅ
張し理解し譲り合う。まず「しょうがい

ちよう りかい ゆず あ
当事者」から新しい価値観を

とうじしゃ あたら か ちかん
創造していきたいと思います。



へいせい ねんど しょうがいとうじしゃぶかいかつどうきょく ～平成28年度 障害当事者部会活動記録～

しょうがいとうじしゃぶかい ぶんきょうくしょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい ぶかい
障害当事者部会とは、文京区障害者地域自立支援協議会の4つある部会の中の1
つです。しょうがい も ひとひと じぶんたち く かんが ば へいせい ねん
つです。障害を持つ人々が、自分達の暮らしについて考える場として、平成25年か
ら行っています。参加している委員としては、しんたい ちてき せいしん しょうがい ひと
身体・知的・精神に障害がある人や、
なんびょう も かたがた こうせい
難病をお持ちの方々で構成されています。

へいせい ねん がつ にち ど くに くに
平成28年11月12日（土）・13日（日）

ぶんきょうそうこうふくし まつ さんか
文京総合福祉センター祭りへの参加

… シンポジウム開催および、きかん
基幹

そうたん しえん きょうどう ばいてん
相談支援センターと協働し売店で

だがしはんばい おこな
駄菓子販売を行った。



へいせい ねん がつ にち ど
平成29年3月19日（土）

とうようだいがく さんか
東洋大学でのシンポジウムに参加

『とうじしゃ かつどう いぎ
当事者が活動する意義』

ながの
永野さんの声
こえ

はじめこのようにしてよし
んきよるになった
人のはなしをきくとじぶん
からはっぴようできるよ
うになりたい

私達が会合で出している

意見が少しでも上の方に聞き込めていた
たき障害のある方が安心して生活ができる
様世の中にならう皆様が少しづつでも幸せに
はれると思います。私でも障害のある方に「かぎりす
困っている方がいるし、たす微力はする手助けす
出来る様頑張りたいと思います。福田美紗子
あくだ
福田さんの声
こえ

はじめはドキドキ
したけれどなれきたら
ひとしはなしをするのが
たのしくなりました。

すぎさき
杉崎さんの声
こえ

僕がリアン様へ入所しており、趣味
でCDを買って聞いたりして、おま
いんふい来るしで販売しているのでも
買って下さい。この本を際にお集のた
へ願掛けして下さいます。おま
おまを一つにしまはる

ともだち
友達になろう、仲間を作ろう！

わたしひとひと
私は人と人とのつながりを大切に
したいと思います。

あまの
天野さんの声
こえ



あ
歩きましよう！
ぼくといっしょに
盲導犬クラウドスです。
もろこけん
ぼくクラウドス

おい
老さんの声
こえ

週5日(月~金)は、金沢
市西三丁目移行教室にて夜学
のためのプログラムを受けてます。
その時はPCでコンピュータが
マウスを作ったり、プロジェクタ
で大画面でYouTubeやDVD
を見たりしてます。

とうじしんが
当事者部会を「アライブ作り・大義名分・あ

飾り・ガス抜き」で終らせたくない。外から
見えず理解されず進んで行かない精神障害

たいり
代表のひとと全障害の部会長の2つの立場

なうり
の両立は、配慮が必要でムズカシ。障害が

あったからこそ出来る「仕事」も続けたい。

こわせ
小和瀬 芳郎さんの声
こえ

共生社会について

平成29年1月12日(木) 老孝明

障害の有無や程度によって、分け隔てられることなく、その人がその人なりの個性を持って、お互いに人格を尊重しあいながら、一緒に暮らすことができたら良い。

その人なりとは、たとえば、歌ごえがきれいだったり、詩や文章・絵画などがうまかったり、ものづくりなどしたり、真面目だったり、おとなしかったり、親切・優しかったりなどのその人をあらわす形容詞を言う。それぞれがそれぞれの表現をする。その人ならではの表現。人は、何がしかのその人なりの活動をしているので、そのことを尊重しあい、ともに暮らす。

その人なりは、あるがままで良いではないか？

またその人の気持ち、心情などをくんで、ともに暮らそう！

健康でも、その人なりはある。障害者でもその人なりはある。

やさしい、親切、きがきくなどのその人の人なりを、重んじよう。お互いにそういうことができれば、やさしい社会、親切的な社会、きがきく社会が創れる。

障害者は、今まで差別やイジメなどによって卑屈になっていたが、今や世の中が社会的弱者(マイノリティ)などの表現を認める時代になってきているので、大いに「共生社会」を啓発し、発信して、少しずつ、この「共生社会」に世の中を近づけようではないか！

障害を持ちながらも生活している「生の声」を発信して、お互いの気持ちや心情をくむ啓発活動を障害者側からも発信できる「機会」をこの「障害当事者部会」に求めたい。

人は差別するもの。差別によって、「自分のアイデンティティ」を求める、そういう人もいる。人より「金持ちになりたい」「社会的地位が高い」などの「欲」を追求する、このことが「経済活動」を活性化させたりもする。意地の悪いことも「良い結果」につながることもある。

はたしてこれでいいのだろうか？

意地の悪い分、どこかに「シワヨセ」がきていないか？

何かを犠牲にして、はたして「良い結果」と言えるのだろうか？

「良いこと」ばかりではない。「不利なこと」も補わなければ、健全とはいえない。

社会的弱者特に障害者を切り捨てる・隔離するなどのことが、いまだに行われているが、これで「良い結果」を導けるだろうか？

疑問である！！

「アンダーコントロール」「フォローアップ」など必要なことは、必要であるが、障害者との「共生社会」の方が、やさしい・親切・きがきく「社会」であると考える。

「差別」をなくすことは、難しいが、限りなくなくすことは、人の努力によってできるのではないか？

「差別」というよりかは、「区別」という言葉を使おう。区別するということで、障害者もアイデンティティが持てる。個々のアイデンティティが、健全者も障害者もあり、お互いその「いい所」を認めるような活動が必要である。健全者と障害者の垣根を越えたこのアイデンティティで「共に暮らす社会」を実現してゆこう！

いいん にちじょう 委員の日常



まいしゅうきんようび くもん い べんきょう
毎週金曜日は公文に行っていて勉強が
たの 楽しいです。やす
休むことはありません。
しょうがいしゃ じゆう おんがく
障害者と自由にダンスをしたり音楽を
たの 楽しんだ大会でした。やきゅう み い
野球を見に行ったり
サッカーを見学に行き、自分で券を買いど
こでも行けます。おうめ い
青梅まで行きました。グ
ループホーム「エルムンド」の人がはなさ
きまつりに行ってみたらとすすめてくれ
て、とうき つく あ
陶器を作り、でき上がりました。
ながの えいちろう
永野 栄一郎

ぜんかい ぶんきょうそうごうふくし わたくしごと
前は、文京総合福祉まつりに私事
さんか でき
で参加出来ませんでした。みなさま たの
に接客している姿を見て、すごくうれ
せしかったです。今回はかならずさんか
させていただきます。この様な催しが
ひろがり、ひとりで
もおお たくさんか さんか でき、ともだち たくさん
多くの方が参加出来、お友達が沢
山できると良いですね。しょうがい
障害があろうと、けん
じょうしや
常者でいようと一緒に住み仲よく暮
らす世の中になったら幸せです。
ふくだ みさこ
福田 美紗子

ぼく へいじつ
僕は平日「は〜と・ピア」と言う事業所へ通っていて、わりばし ふくろい か もの にゅうよく
割箸の袋入れや書き物、入浴をして
すごしています。リアンぶんきょう にゅうしょ しゅうまつ
リアン文京へ入所していて、週末はガーデニング講座や料理教室に参加し
ていて、いそがしくも楽しい毎日です。すぎさき ゆうすけ
杉崎 裕介

く いいん 区委員からのメッセージ

ことし いいんにんき さいしゅう
今年、委員任期の最終

ねん しょうがい
年になることから、障害

りかい ふか しょうほう
理解を深めるための情報

はっしん すす
発信をいっそう進めていた

おも
だきたいと思います。

しょうがいふくしか なかじま かすひろ
障害福祉課 中島 一浩

ほしよにん ひとこと 補助人からの一言

へいせい ねんど ちてき しょうがい かた
平成24年度から知的に障害がある方
ほしよにん ぶかい さんか
の補助人として部会に参加させていただ
いてます。まじめ たの はな あ みりょく
真面目で楽しい話し合いが魅力
です。ぶんきょうえんじゅ かい まつした こういち
文京 槐の会 松下 功一

と あ さき 【問い合わせ先】

ぶんきょうくしょうがいしきかんそうだんしえん
文京区障害者基幹相談支援センター

TEL : 03-5940-2903

FAX : 03-5940-2904

はっこうび へいせい ねん がつ にち
発行日 : 平成29年 8月 31日

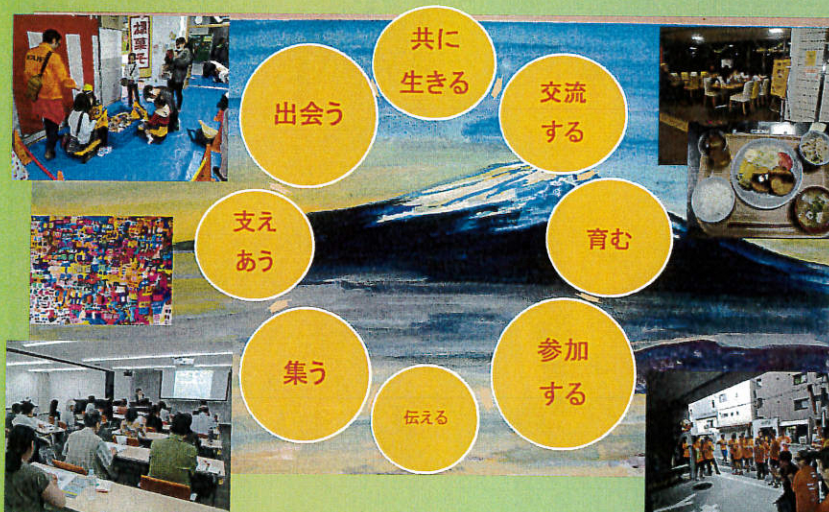


利用者選挙参加への取り組み



リアン文京
小林 俊夫

絆社会の実現を目指す 地域と繋がる8つの柱



リアン文京 入所事業 概要

- 4ユニット 定員40名 現在39名

- 支援区分

区分4	区分5	区分6
8	13	18

- 年齢別現員数

~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~	合計
1	5	7	12	5	9	39

- 主なサービス内容

健康管理

通院支援

環境整備

地域交流

余暇支援

外出支援

余暇支援

クラブ活動



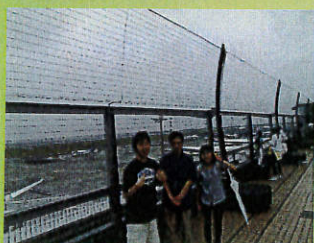
地域交流

カフェコン、縁が和、お祭り、等



外出支援

個別外出



成年被後見人の方々の選挙権について

・平成25年5月、成年被後見人の選挙権の回復等のための公職選挙法等の一部を改正する法律が成立、公布されました（平成25年6月30日施行）。

・この改正では、併せて、選挙の公正な実施を確保するため、代理投票において選挙人の投票を補助すべき者は、投票に係る事務に従事する者に限定されるとともに、病院、老人ホーム等における不在者投票について、外部立会人を立ち会わせること等の不在者投票の公正な実施確保の努力義務規定が設けられました。

(http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/touhyou/seinen/index.html より抜粋)

選挙支援への取り組みに至るまでの経緯 ①

リアン開所から、これまでの利用者の選挙行為は・・・



・住所がリアンにある利用者入居者39名中6名を選挙会場（江戸川橋体育館）へ連れて行く

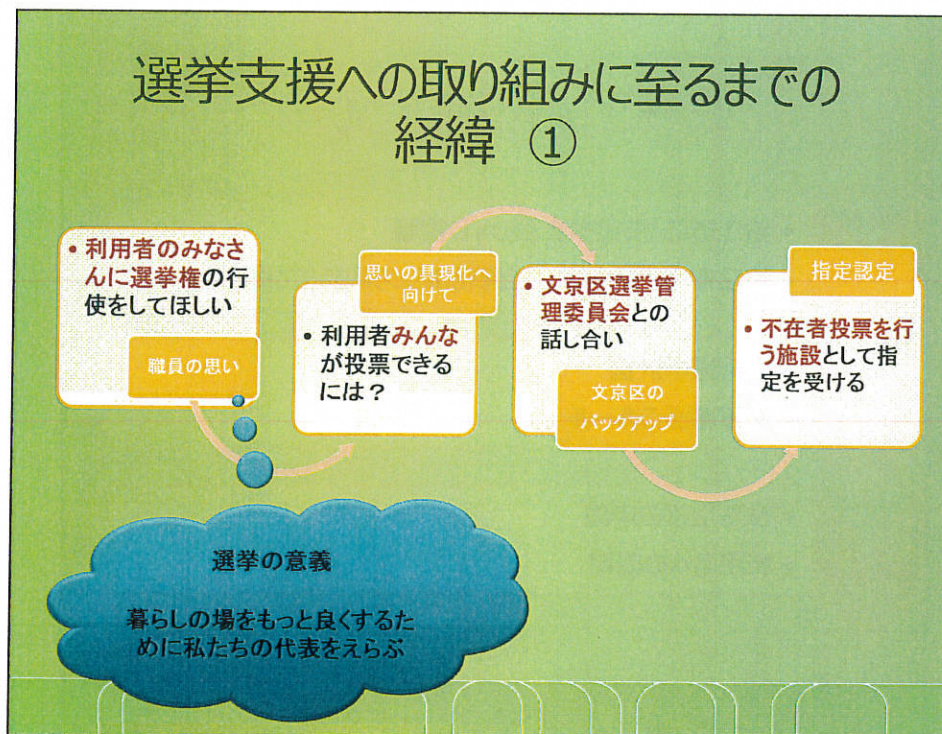


・家族と一緒に投票所へ行く。



・郵送などにて不在者投票を行う。

選挙支援への取り組みに至るまでの経緯 ①



選挙支援への取り組みに至るまでの経緯 ②

- 平成29年5月29日
「東京都議会選挙における不在者投票指定施設打合せ」へ出席。
- 平成29年6月18日 家族会にて不在者投票について説明する。

具体的な準備について

情報

- 狛江市による投票支援DVD視聴
- 狛江市選挙管理委員会事務局より電話にて聞き取り

検討

- 模擬選挙計画
- 意思確認のルール

環境設定

- 投票用紙の申請
- 利用者への説明

模擬選挙

計画内容

- 実施日は不在者投票日の1週間前に行う。
- 当日同じ投票会場・時間帯で実施する。
- 目的は、利用者は選挙の雰囲気を経験、職員は各利用者の選挙行為のアセスメントを行うこと。
- 役割分担も当日と同じ職員が行う。

模擬選挙

【意思確認の手順とルール】

①指差しが出来る場合

「どのの方にするか」と確認→ 指差する (1回目)

「これでいいのか」と確認→ 指差する (2回目)

* 1回目と2回目と同じ候補者であれば、その名前を代理で記入する。

* 確認は4回まで。うち、2回連続して同じ候補者を指した場合、その候補者を記入する。それ以外は、白票とする。

②意思があるが、指差しが難しい(手がふるえる場合)

瞬きなどの意思確認で確認し、記入する。

③選挙のブースに入れるが、指差し、それ以外の意思確認が出来ない場合は、白票とする。

※意思確認の手順とルールについては文京区選挙委員会に承認を頂く

模擬選挙

計画内容

• アセスメント項目

①受付から記載台への移動と着席

②4名の候補者の中からの選択と記入

③投票箱に入れる行為。

模擬選挙

結果と課題

- 1時間30分の投票時間で16名の利用者が選挙行為を行った。うち、自分で投票できる方は2名、代理投票は14名であり、白票は8名であった。
- 利用者が選挙会場に入ることや会場内の移動、意思を確認するまでに時間がかかった。当日は、おおよその利用者の投票順番を決めて利用者を選挙会場へ案内・誘導する。

模擬選挙

結果と課題

- 利用者個別の意思決定支援の具体的手順と配慮について職員間で情報共有する。
- 投票時間の拡大を検討する。

不在者投票当日の流れ

- 9 : 3 0 明るい選挙委員会の委員 2 名来訪
- 投票時間は、①10 : 00 ~11 : 30②15 : 00 ~ 17 : 00とし、他事業所へ通所している利用者が参加できるように配慮した。
- 投票の順番は自分で選択できる利用者より実施。34名投票予定のうち30名が投票行為を行った。不参加の理由としては、「投票時間内に帰宅出来なかった」「投票所に入ることが出来なかった」などの理由であった。

不在者投票当日の流れ

- 午後に選挙管理委員会が立会い、選挙行為の監督を行った。
- 選挙管理委員会よりいくつかの見解
 - ・候補者の表示やルビは拡大コピーなどで大きくしてよい。
 - ・立会人などの名前を意識しても良い
 - ・写真付きの選挙公報を投票所内に掲示してよい

振り返りと今後の課題

- 利用者の方への聞き取り
「不在者投票に参加しての感想をお聞かせください」
- 利用者の声
 - ・30代男性（知的障害、身体障害）
「投票箱に入れることが難しい利用者がいたので、投票箱でなくてもいいのでは」
 - ・40代女性（精神障害、知的障害）
「いつもはシビックセンターまで行くがリアンで出来ると便利です」
 - ・60代男性（身体障害）
「とても良いことである。すばらしい」



か

意思決定支援

- 基本的原則
 - ① 自己決定を尊重し、本人に必要な意思決定に必要な情報を本人に理解できるよう工夫することが大切で、幅広い選択肢や絵カードや具体的な手がかりから選択出来るように工夫することが求められる。

厚労省
障害者福祉サービス等の提供に関わる意思決定支援 ガイドライン(案)より

意思決定支援

②職員などの価値観において不合理だと思われる決定でも、他者への権利を侵害しないのであれば、その選択を尊重する姿勢が大切となる。

安易にリスクを理由に制限するのではなく、リスクを予測しつつ、その対応を考えていくことが重要である。

③本人の自己決定や意思確認がどうしても困難な場合は、本人を良く知る関係者が集まって、本人の日常生活の観察や本人の表情や仕草から意思および選考を推定する。

代理投票補助を通しての 意思決定支援の実際

● ケース1 : 60代女性、脳梗塞 支援区分6

【日常における意思表示、コミュニケーション】

- ・発語はあり、口を動かすが、不明瞭である。
- ・相手の手のひらに文字を書く動作はあるが、職員は読みとることが難しい。
- ・指差し動作は可能であるが振るえが強く判断が難しい。
- ・YESの場合瞬きと顔きあり、NOの場合は顔をしかめる、首を横に振る。
- ・日常における会話、言葉の理解は出来る。

代理投票補助を通しての 意思決定支援の実際

【意思決定支援の実際 意思疎通における合理的配慮】

- ・模擬投票：事前に模擬投票であることを伝える。**職員との体験の共有**
- ・選挙当日に向けて：情報の提供→**選挙新聞を職員と読む。**
- ・投票当日：**模擬投票を行った職員が代理投票補助。**
3名の候補者についてそれぞれ反応を確認。**瞬きと頷きがあった候補者**
の名前を伝え、**意思確認を再度を行い**、代理投票記入者が代筆し、
本人と一緒に投票箱へ入れた。



代理投票補助を通しての 意思決定支援の実際

- ケース2 : 20代男性、知的障害 支援区分6



振り返りと今後の課題

- 全体を通して
- 今後について
 - 「リアン文京」内に当日投票所の新開設
 - 住所地に関係なく、投票日当日に投票できるように入所者に特例を
意思決定支援の定着
- 次回の選挙
 - H29年10月22日 衆議院議員及び最高裁判所裁判官国民審査投票日
 - 次回の選挙は「小選挙区」・「比例代表」・「国民審査」の3つの投票用紙



ご清聴ありがとうございました。



リアン文京

